

舞楽（上演プログラムテキスト）

舞楽は、主に宮廷で上演されました。この形式の舞は、アジア大陸の慣習と宮廷文化の影響を受けており、様式化された動き、精巧な衣装、そして雅楽と呼ばれる伝統的な器楽が特徴です。舞楽は1,200年以上にわたって受け継がれ、日本で最も古い舞台芸術の一つとなりました。今でも皇居での特定の宮廷行事で行われており、神社仏閣や劇場でも時折見られます。舞楽は、2009年に「雅楽」の一部としてユネスコの無形文化遺産の代表的なリストに追加されました。

この公演では、舞楽の中で最も有名な舞と思われる蘭陵王の短縮版を上演します。これは、見目が良すぎて軍の司令官として真剣には認めてもらえなかった中国の王子の物語に基づいています。彼は彼の軍隊を鼓舞し、敵を威嚇するために、恐ろしい仮面を着用し、軍隊を勝利に導きました。舞手の仕草は、戦闘中に兵士たちへ指示することを象徴しています。